

巴川の洪水を防ぎ、住民の生命を守る対策を紹介します

台風18号の浸水被害の状況や県による治水対策・住民への周知方法をPR
～7月11日はアピタ静岡店で本物の「護床ブロック」に落書きしちゃえ！～

1 概要

七夕豪雨から40年が経過した平成26年に台風18号の来襲により巴川流域の氾濫で静岡市内では1,000戸を超える浸水被害が発生しました。あらためて水害の恐ろしさを地域住民に伝えるとともに県治水対策事業等を家族向けにわかりやすく紹介します。

2 日時

平成27年7月11日（土）10時30分～17時00分

3 場所

アピタ静岡店（静岡市駿河区石田）センターコート及びイーストコート出入口付近

4 内容

（1）センターコート

- ① パネル展示：台風18号被災状況及び県の治水対策事業に関する紹介
- ② ミニ水族館：巴川流域、麻機遊水地内に生息する生物の展示、生息動物の一覧をパネルにて紹介
- ③ 護床ブロックミニチュア製作：（玩具用砂を使用して型枠に流し込み）

（2）イーストコート出入口付近

護床ブロック（6基）への落書きコーナー

- ※ 護床ブロック 洪水などの水の流れにより川底が掘られるのを防ぐために設置します。

5 協力

静岡建設業協会 静岡県河川協会

6 問い合わせ

静岡土木事務所河川改良課河川改良班：054-286-9364 担当：影山・長谷川
（巴川流域麻機遊水地自然再生協議会ホームページ <http://asabata.org/>）